

令和5年度 荒川中学校の教育全体構想【グランドデザイン】

教育目標：めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう

◇生徒の願い
◇保護者の願い
◇地域の願い
◇職員の願い

目指す生徒像

自らを大切に生活し、あいさつ・がまん・あとしまつのできる生徒

- ・将来を見据え、意欲を持って、積極的に学習に取り組む生徒
- ・主体的に問題を捉え、自ら考え、他者と関わりながら最後まで取り組む生徒

◇学習指導要領
◇県学校教育の重点
◇村上市教育基本計画

年度の重点目標

社会性の育成

確かな学力の向上

特別支援教育(適応指導)の充実

健康な体づくり

確かな学力の向上

★ 目 標

学習意欲を高め、基礎・基本の定着と自ら考える力の育成を図る。

★ 取 組

- 『村上市の授業づくり』の実践
「課題の設定」「対話的な活動」「まとめ」「振り返り」
- 授業規律・基礎能力の徹底
「5原則」「学び合いのルール」「立腰」
- 家庭学習習慣の定着
○予習・復習の定着(分かるからできるへ)
○授業と関連した課題の工夫、がんばりノートの活用
- 個別支援の進展(少人数指導・サポートルーム)
- 学習会の実施(補充学習、質問教室、未来塾)

★ 評 価

- 生徒アンケートで教科の「授業がわかる」と肯定的に答える生徒の割合が80%以上になる。
- 生徒アンケートで、「自分の考えを自分の言葉で発表できる」と肯定的に答える生徒の割合が80%以上になる。



社会性の育成

★ 目 標 (3つの力を身に付ける)

- 人間関係づくりの力
- 自分を理解し、主体的に行動する力
- 課題を見つけ、協力しながら解決する力

★ 取 組

- SDGsの視点による地域貢献活動
○総合的な学習の時間における取組
○清流川川クリーン作戦
○福祉ボランティア活動(学年・委員会・部活等)
- 学校行事
○体育祭、青雲祭(合唱コンクール)等
○自然体験、職場訪問、職場体験、修学旅行先での体験
- 支持的、支援的な学級づくり(QU検査の実施)
- 教育相談、いじめアンケート、キャリアデザイン等の個別支援の充実
- 特別の教科 道徳の授業、人権教育、同和教育の公開授業

★ 評 価

- 生徒アンケート「自分は集団に貢献している」の肯定的評価を85%以上にする。
- 保護者・教師アンケートで、生徒のソーシャルスキルに係わる項目の肯定的評価を80%以上にする。



特別支援教育(適応指導)の充実

★ 目 標

- 持てる力とニーズを生かし、一人一人の力を確実に伸ばす。
- 特別支援教育(適応指導)の啓発と情報発信を推進する。

★ 取 組

- 特別支援教育(適応指導)の研修会の実施
- 特別な支援が必要な生徒の理解と個々に応じた適切な対応
○面談や各種調査・検査に基づく「個別の」教育支援計画
「個別の指導計画」の作成と共有
○スクリーニングの実施と対応の協議
- 全校体制によるユニバーサルデザイン教育の推進
UDLの実施

★ 評 価

- 個別支援計画をもとに①現状把握②目標設定③実践④評価のサイクルで短期的、長期的に働きかけている。
- 職員、保護者に対して取り組みの理解を得ている。

健康な体づくり

★ 目 標

- 健康な体と体力の向上。
- メディアコントロールを中心とした規則正しい生活習慣の確立。

★ 取 組

- 体育の授業でのチャイム学習(補強運動)
- 健康講話・応急手当講習・薬物乱用防止教室・歯の健康講話
- 授業、セルフモニタリングシートを活用した生活習慣改善指導
- 部活動ガイドラインに基づき、地域資源に対応した部活動の取組
- PTAと連携したIT機器の有効活用

★ 評 価

- 2回目の体力テストにおいて課題となっていた種目の向上がある。
- 生活習慣の改善に取り組んだ生徒を増やす。



◇教職員の指導力の向上

- 校内研修(ICT機器の活用を含む)の充実(理論研修、研究授業等の実践研修の充実)
- 研修履歴に基づく各種研修会への参加(県・市)

◇生徒理解の推進

- 不登校等、校内指導会議での情報共有
- いじめアンケートの実施による情報共有
- 市不登校対策会議との連携

◇学校教育活動の評価・改善

- 保護者・地域へのアンケートの実施
- 全職員による教育活動の検討
- 実績および改善策の公表・外部評価の活用

コロナ感染症対策を取りながら保護者・地域と一体となった教育活動

- 小中高連携
- コミュニティスクール
- PTA
- 荒川クリーン作戦
- 総合的な学習の時間
- ホームページ
- 学校だより
- 地域コーディネーター
- 未来塾

働き方改革の一層の推進